



水戸市立図書館から 赤ちゃんにおすすめの本 2018年版

<p>赤ちゃんのためのことばの絵本 [E ア]</p> <p>桑原 伸之 さく あすなる書房 2002年</p> <p>ころころ、ぴよんぴよん、ゆらゆら、くるくる。くり返しの言葉の心地よい響きや、シンプルな絵を、赤ちゃんと一緒に楽しみましょう。</p>	<p>あーそーぼ [E ア]</p> <p>やぎゅう まちこ さく 福音館書店 2016年</p> <p>「あーそーぼ」と誘いに行くと、お友だちは何かをしています。ごはんやおそじ、おふろ。みんなで一緒にすると、なんだか楽しい！</p>
<p>おいし〜い [E オ]</p> <p>いしづ ちひろ さく くもん出版 2014年</p> <p>ころころおにぎり、ほくほくかぼちゃ、とろんとろんスープ。赤ちゃんがいろんなごはんを食べて、「おいし〜い」とにっこり。家族みんなで、うれしい気持ちになれますよ。</p>	<p>おやさいめしあがれ [E オ]</p> <p>視覚デザイン研究所 さく 2017年</p> <p>ゆでたてのとうもろこし、焼きたてのさつまいも、カリカリきゅうりに、おまめなど。色鮮やかな野菜と、野菜が主役の料理が登場。苦手な野菜も食べたくなるかも。</p>
<p>かんかんかん [E カ]</p> <p>のむら さやか 文 福音館書店 2010年</p> <p>踏み切りに“かんかんかん”の音が響いて、ふしぎな列車が通ります。んまんまれっしゃ、ぶうぶうれっしゃ。次はどんな列車が来るのかな？</p>	<p>コップちゃん [E コ]</p> <p>中川 ひろたか ぶん ブロンズ新社 2003年</p> <p>「こんにちは」「おなまえは？」「いくつ？」。赤ちゃんがよく耳にする言葉をかけられたコップちゃんが、いろんな表情を見せてくれます。コップちゃんとのやりとりが楽しい。</p>
<p>さわらせて [E サ]</p> <p>みやまつ ともみ さく アリス館 2014年</p> <p>いぬやねこ、うさぎやかめに「ちょっとさわらせて」と言ってみると？優しい風合いの貼り絵で表現された動物たちに、そっとさわりたいくなる絵本です。</p>	<p>ぴよぴよぴよ [E ピ]</p> <p>平野 剛 さく 福音館書店 1987年</p> <p>くろねこのそばを、ひよこが通ります。ねこは、ひよこをねらいますが……。次々に現れるひよここと、「ぴよぴよぴよ」の鳴き声がかわいらしい。</p>
<p>パジャマでぼん！ [E パ]</p> <p>くぼ まちこ 著 アリス館 2017年</p> <p>「きょうはひとりでパジャマきるよ」とみーちゃん。頭や手、足の出口はどこかな？ねずみくんが案内してくれますよ。</p>	<p>ママのて [E マ]</p> <p>やまもと ゆうこ 作 こぐま社 2017年</p> <p>大好きなママの手は、何でもできちゃう、ふしぎな手。ぎゅっぎゅっ、ぶくぶく。ママの手、なにしてる？ページをめくるのが楽しみな絵本。</p>
<p>まり [E マ]</p> <p>谷川 俊太郎 文 クレヨンハウス 2003年</p> <p>まりは、ころころ転がって、ぼんぼん弾んで、形を変えて……。まりの動きを擬音語だけで表現しています。声に出しても、耳で聞いても、楽しい。</p>	<p>よくきたね [E ヨ]</p> <p>松野 正子 ぶん 福音館書店 2009年</p> <p>「おいでおいで」。こいぬやこねこが、おかあさんのもとにたどり着くと、「よくきたね」といいこいこしてもらいます。親子の姿をやさしく丁寧に描いた絵本。</p>

*リスト中の[]内は、水戸市立図書館で使用している請求記号です。